



▲囲炉裏で料理

小宮字中屋敷地内の見晴らしの良い小高い山の上に、参加者が記念植樹をしました。野手上山も見える素晴らしい場所です。植えたのはオオヤマザクラ。
「桜が咲く時期に、またみんなでお花見ができた

飯館への移住を予定している人や、農家暮らしにあこがれをもつ人が参加しました。
イノハナご飯や煮物、漬物、いのしし鍋など、地元産の食材を使った料

豊かさのもてなし
小宮は「Iターン銀座」と呼ばれる地域もあるように、村外からの移住者が多く、さらに飯館に住みたいという人が増えてくれば、というもねらいのひとつです。

小宮コース

あなたの田舎を作ってみませんか？

理で歓迎会。参加者は、安全安心な本当の豊かさを実感していました。

「歓迎会となればやはりお刺身を」と考えがちですが、今回の体験では飯館ならではの田舎料理にこだわったところ、都会からの参加者は、このメニューに大変満足していました。

そしてお酒もまた楽しみのひとつ。宴は夜更けまで続きました。

桜の丘をつくらう

「までいな休日」は、都会住人との交流を通して、農産物の販路拡大やIターン者とタッグを組んだ地域づくりを進めようと、佐須、小宮の2行政区それぞれで2日間に渡って行われました。

いずれも民泊で、田舎暮らしを体験。地元実行委員会では、受け入れ先や、体験の内容など、何度も検討が重ねられました。準備の段階ではたくさんご苦労もありましたが参加者も受け入れ側も大感激の充実した交流になりました。

日本再発見塾
in
いいだて2009



▲「炭すこ」を編む参加者

Iターン者との交流では、村の人が気づかない「飯館村の魅力」が語られました。
「美しい自然の中で、季節を肌で感じながら生きていく。冬が寒い分、春の素晴らしさがわかる」
「都会では希薄になってしまった人と人のつながり

Iターン者が語る 飯館の魅力とは

「おいしいね」と語り合いました。都会生まれで自分の田舎がない人にとっては、今日から飯館がふるさとです。

が残っているのがうれしい」「野菜づくりをはじめ、村での暮らしに必要なことを教えてくれたり、野菜などを分けていたり、温かい」と、「何にもない」と言うけれど「自然や心のつながりなど魅力がいっぱいある」ことを再発見しました。
準備の段階では色々大変だった「までいな休日」ですが、「受け入れ先がなければうちの地区でも」などと、地域で協力の輪が広がり、小宮行政区のまとまりが、より深まった2日間となりました。



2



1



1. 田舎料理に舌鼓 2. 宝財踊りを披露 3. Iターン者の懇談



3

いいだてで過ごす、とっておきの時間

までいな休日



10/31

5

11/1



4



4. どぶろくを賞味 5. 調理後にほっと一息 6. 佐須虎捕太鼓で歓迎



6



5



▲佐須公民館庭で行った記念植樹「佐須はみんなのふるさと。いつでも佐須に帰っておいで」



▲オオヤマザクラの記念植樹後に「また桜が咲いたらお会いしましょう」

日本再発見塾
in
いいたて2009

までいな休日 ~いいたてで過ごす、とっておきの時間~

主催▶までいライブ推進事業実行委員会・飯館村・小宮行政区・佐須行政区
協力▶日本再発見塾

~この事業は、福島県電源地域振興・原子力等立地地域支援事業の助成を受けて実施しました~

参加者の声

「山から見える風景がとてすばらしくて、ずっと眺めていたい、下山するのがもったいないと思いました」
「過疎の村と聞いていたので、もっと静かに暮らしているイメージがあったけれど、みなさんたちはとても元気で笑い声が響いていました」

野菜オークションでは、までいに育てた品評会出品が安く手に入る(?)と会場は大盛り上がり。ぜひ、リピーターになってほしいと、今回新たに

農産物の

リピーターに

「よくぞ勇気を出してお越しくださいました!」
山歩きが好きな3組の夫婦と、東京から職場の仲間と参加した11人の参加者が、思わず顔を見合わせてしまった歓迎のあいさつ。
「どんな体験がまっているのかと、内心ドキドキしていました」と参加者の期待も膨らみました。

佐須農業祭

紅葉の虎捕山登山は、達人と一緒にキノコ採りをする予定でしたが、今年あまりキノコが生えないとのこと。小雨まじりのあいにくの天気でしたが、登るにつれて霧に覆われた幻想的な光景を見ることができました。

村の達人たちと

下山してからは、虎捕太鼓と蕎麦打ち体験。は

佐須コース

こだわりの里で

こだわりの時を...

はじめは恐る恐るだった参加者も、達人からコツを教わりながら、だんだん活き活きとしてきました。

囲炉裏を囲んで

婦人会や消防団などが中心となって準備してきた交流会。囲炉裏では岩魚が焼かれ、今年の新米で作られたどぶろくが振る舞われました(このどぶろく目当てに参加し



▲蕎麦打ちの理念と実践を学びました



◀野菜オークション「大根 500円!?!」

作成した佐須の農産パンフレットも配りました。
佐須行政区では、「自分たちにとっても充実した2日間だった。今回、大変評判が良かったので、引き続き実施していきたい」と、今後の取組みに意欲を見せていました。